



～子ども達の未来のために～

小中学校一貫にした場合のメリットとデメリット

先日お願いした保護者アンケートや、嵐山町立小中学校再編等審議会の会議で頂いた質問に「小中学校を一貫にした場合のメリット・デメリットがわからない」というものがありました。今回はこの質問についてお答えします。

嵐山町の小中学校を施設一体型小・中一貫校にした場合

適正規模によるメリット

- ・クラス替えが可能
- ・多様な意見に触れる機会
- ・クラブ、部活動の種類の増加
- ・教員数の確保による専門教科担当教員の配置 等

※適正規模：小・中学校の学級数は、十二学級以上十八学級以下を標準とする。（学校教育法施行規則第41条・第71条）

小中一貫によるメリット

- ・中学校への進学に不安を感じる児童の減少
- ・小中相互乗り入れ指導
- ・小中共通で実施する取組の向上
- ・9年間を見通した教育課程 等

※小・中一貫校：小・中学校の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育を行う学校。

嵐山町の小中学校を施設一体型小・中一貫校にした場合

【メリット】

- ・適正規模によるメリット
 - ・小中一貫によるメリット
- の両方を享受できる

【課題】

- ・通学距離の問題
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・児童生徒の人間関係の固定化 等

※適正規模および小中一貫によるメリットは文部科学省資料より引用

小中学校再編等審議会について

11月18日（木）、第3回嵐山町立小中学校再編等審議会が開催されました。委員の皆さまから、これまでの会議資料や学校見学等により町立小中学校の現状を踏まえたうえでのご意見・ご感想をいただきました。「学校再編等の問題はスピーディに取り組むことが重要」といったご意見が多く出される一方で、「現在の学校施設の状況も改善していくべき」といったご意見もありました。会議の進捗状況は広報や町ホームページ等に随時掲載します。

問合せ 教育委員会事務局 ☎62-0823

教育相談室

ちよつとの工夫で、育児ライフをハッピーに

「はやくして!」「なんで○○したの!!」なんてつい怒鳴ってしまうこと、ありませんか。外出する機会も減って家族で過ごす時間が多い今日、子供との接し方を反省して自己嫌悪になってしまふこともあるのではないかと思います。毎日毎日一生懸命子育てしているに、わが子のできないことばかりが気になったりイライラしたり、振り返ってみると上手くいかなかったことばかりを思い出す。では、もっと楽しく子育てをする方法はないのでしょうか。

SNSなどで人気の保育士・保育アドバイザーのてい先生が執筆した「子供に伝わるスゴ技大全 カリスマ保育士てい先生の「子育てで困ったら、これやってみ!」(ダイヤモンド社)や、YSこころのクリニックの院長の宮島賢也先生が執筆された「うつぬけ精神科医が教える 心が折れない子を育てる親の習慣」(KADOKAWA)の中に素敵な実践や言葉がありましたので、紹介させていただきます。

☆こんな方法でできる!愛情の伝え方
子供のことはもちろん大切に思っているけれど、愛情を上手く伝えられているのかな、と心配になってしまふこともあります。愛情はどのように伝えればよいのでしょうか。

☆いつものあいさつに「工夫

「大好きな○○ちゃん、おはよう」と、毎日のあいさつに愛情を伝える言葉を加えてみるといいですよ。子供たちは、おうちの人の外でいっぱい愛情をもらおうと、お「不安なことや悲しいことがあっても、その愛情で乗り越えられます。お外で消費して帰ってきたら、また、おうちで補給!その繰り返しが子供を強くします」とてい先生の言葉がありました。子供への愛情チャージ、足りてるかしら?とそわそわするのは疲れてしまいます。毎日のあいさつで、お手軽簡単に愛情を伝えてみてはいかがでしょうか。是非やってみてください。

☆子供はもとも完璧な存在

私たち大人は、子供たちを三日月のように考え、「なんとか欠けている部分を補ってあげよう」「この部分を足してあげよう」としてしまいがちです。しかし、三日月に見える月も、角度を変えて見れば満月に見えます。子供を満月として、欠けたところなんてない完璧な形、と捉える「満月理論」を宮島先生は勧めています。一見「何が足りない!」と思う我が子も、丸く見える角度があるはずで、勉強が苦手でも、スポーツが得意だったり、絵を描くことが得意だったり、子供にはさまざまな能力があります。

子供たちはみんな花の種を持っている、という言葉がありました。チューリップの花の種を持っているのに、周りの大人がバラの花を咲かせようといくら頑張っても、子供が持っている種は花を咲かせられません。私たち大人が子供の種を育てていく、土や空気や水、肥料となり、すてきな花を咲かせられるようにサポートをしていきたいですね。そのためには、「愛情を伝える」「子供を満月だと

思ってみる」を実践してみたいいのではないのでしょうか。でも、そんな余裕がない、なんて思うときもあります。そんなときは自分に向かって「今日もよくがんばったね」と自分の頭を優しくヨシヨシなでてみてください。と、てい先生は提案しています。大人の疲れた心を癒やすセルフケア、簡単に実践できそうです。子供を大切にするにはまずは自分を大切に。ちよつとの工夫で育児をハッピーに、みなさんの育児が楽しくなるよう、心から祈っています。

参考文献

- ・「カリスマ保育士てい先生の「子育てで困ったら、これやってみ!」
- ・てい先生(ダイヤモンド社)
- ・「うつぬけ精神科医が教える 心が折れない子を育てる親の習慣」宮島賢也(KADOKAWA)

問合せ 教育委員会事務局 ☎62-0823